

第2回補助26号線沿道地区街づくり懇談会 次 第

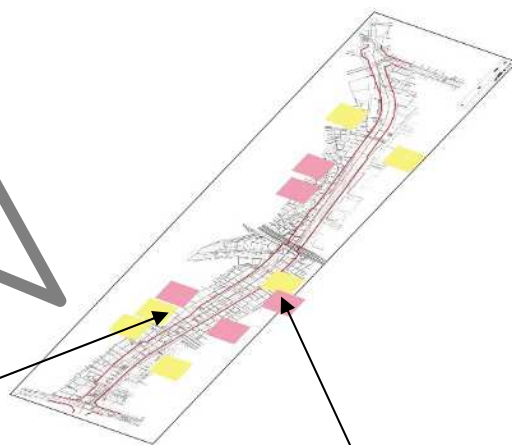
日 時：平成31年2月27日(水) 19:00～20:30
会 場：北沢タウンホール 12階 スカイサロン

1. 開会
2. 第1回街づくり懇談会の振り返り
3. 意見交換（本紙裏面をご覧ください）
4. 街づくりアドバイザーより 国士舘大学 寺内教授
5. 閉会

意見交換（第2回）のテーマ

『街の魅力や課題』

地域の魅力や課題、今後も大切にしたい場所、こうなったらいいと思う場所などについて付せん紙に記入し、地図上に貼っていきましょう。



黄色い付せん紙：街の魅力

A large empty dashed rectangular box for writing notes about the street's charm.

ピンク色の付せん紙：街の課題

A large empty dashed rectangular box for writing notes about the street's issues.

第 1 回
補助 2 6 号線沿道地区街づくり懇談会の振り返り

【要 旨】

- 1 . 意見交換の概要
- 2 . アンケートの概要
- 3 . 東京都からの回答
- 4 . 区からの回答

1. 意見交換の概要

(1) 街づくり懇談会に関する意見

▶ : 発言 ▷ : 付せん : 区の回答

<p>開催趣旨</p>	<p>▷街づくり懇談会の趣旨が将来像を共有しながら必要な事項をルール化するとはどういうことなのでしょうか。将来像について懇談するのではないのでしょうか。必要な事項とは何でしょうか。それをルール化するというのは住民が守る事項を条例化するのでしょうか。回りくどい文章はやめて簡潔に表現してください。</p> <p>▷生活再建に悩む人の話など、道路整備への反対につながるような意見も話していく会なのか？</p> <hr/> <p>区としては、地域の皆様との検討に基づき、補助26号線沿道の将来像を共有しながら、建物用途や街並みのルール（用途地域の変更と地区計画の策定等）を定めることが最終目標です。道路整備にあたっての、住民の皆様の不安や問題点にも東京都との役割分担の中で、丁寧に対応していきたいと思えます。</p> <p>街づくり懇談会は、道路の賛成反対を議論する場ではないということをご理解いただければと思います。区としては、東京都が事業認可を受けて道路の整備が始まった時に、一番最初に建物を再建される方に合わせた街づくりをしたいと思い、街づくり懇談会を開催しています。</p>
<p>情報開示</p>	<p>▶今回の正確な発言や回答の記録を確認した上で2回目に臨めるようにしてほしい。今日参加している方々には何か配っていただければと思う。</p> <p>▷Q&Aはみんなに公表されますか？オープンにしてほしい。</p> <p>▷会の報告（記録）はどのようにされますか？記録資料がほしい。</p> <p>▷参加者からの意見や質問、世田谷区等からの回答は、関係者全員に共有されるべき情報である。東京都へ提出している質問に対する回答が不十分なことに不安を感じている。</p> <hr/> <p>街づくり懇談会で皆様から出されたご意見、ご質問とその回答は、関係者全員に情報が共有されるよう、「街づくりニュース」でお知らせするとともに、次回の街づくり懇談会でお示しします。</p> <p>いただいたご意見は、この場で答えられることは回答し、回答できない質問にも後日回答していきます。道路に関するご意見やご質問は、道路整備を行う東京都へも必要なことはお伝えしていきます。</p>

案内範囲	<p>▷街づくり懇談会の案内範囲を広げるべきと思います。</p> <p>-----</p> <p>現在、補助26号線の沿道おおむね30mの範囲にお住まいの方と権利者の方に「街づくりニュース」を配布していますが、範囲外の方でもご希望の方には配布いたします。また、街づくり懇談会にはどなたでもご参加いただけます。</p>
その他	▷第1回目とのこと。いろいろな人の意見を聞いて自分なりに勉強したい。

(2) 沿道街づくりに関する意見

▶ : 発言 ▷ : 付せん : 区の回答

用途地域	<p>▷沿道住民が建替えしやすいように、用途地域の変更をお願いします。</p> <p>▷当該エリアは住宅街であるため、現在の住環境を変えることはNG。(中層化建物やコンビニ建設など)</p> <p>▷建蔽率、容積率をできるだけください。防火商業ビル、多用途マンションを建てるべき。</p> <p>▷用途地域の変更は、どのような流れで決まっていくのか？</p> <p>▷立ち退かなければならぬ家族のために、沿道に高層住宅を建てることなどを考えてほしい。</p> <p>▷ほぼ地下ルートなのにどうして用途地域が必要か分からない。</p> <p>▷堀割道路の沿道には、商店は成り立たないのでは？テナント空き家や変な事務所、宗教団体など増えても困る。</p> <p>▷道路ができた時、用途地域の変更はあるのか？現在、このエリアは一種低層だが、高さ制限などの緩和もあり得るのか？街並みが変わってしまうのは心配。</p> <p>▷コンビニと図書館があると良い。</p> <p>-----</p> <p>区としては、用途地域の変更と地区計画の策定等を念頭に置いており、今後の街づくり懇談会で検討していきます。</p> <p>現在、第一種低層住居専用地域で高さ制限が10mとなっており、主に住宅しかできません。そこで、新しく整備される道路沿道に、将来的にどのような用途の建物があると良いのか、今後、街づくり懇談会で検討していきます。</p>
------	--

地区計画	<p>▷地区計画とは何か？</p> <p>-----</p> <p>地区計画は、用途地域によるルールに加え、建物の用途や高さ等について、地区独自のルールを定めるものです。どのような街になってほしいのかという皆様の想いによって、地区計画の内容を決めていきます。用途地域を緩めると、高さ制限も緩くなりますので、その時に、建物は何階建てにしてほしいなどの議論があれば、地区計画で高さ制限をしていくという形になると思います。</p>
将来像	<p>▷世田谷の街の外観が損なわれないような街づくりをしてほしい。緑多くゴミゴミしない。</p> <p>▷公園や憩談・いこいの場をつくること。代田には下代田児童遊園しかない。</p> <p>▷都道26号線ありきではなく、代沢1丁目及び駒場2～3丁目の街づくりをいかにあるべきかを示す。</p>

(3) 道路整備に関する意見

▶：発言 ▷：付せん : 区の回答

必要性	<p>▶現時点で道路の整備は確定しておらず、反対している人もいる。道路の整備が行われることを前提として議論を進めることに納得していない。</p> <p>▶世田谷区は東京都の決定に従うだけだということか。</p> <p>▶世田谷区が道路整備の賛否を議論しない立場であることは理解できるが、生活再建等に悩む地域住民が、議論した上で結果的に道路整備反対という意向に繋がる場合もある。世田谷区はそのような場合どのように対応するのか。賛否双方の意見も含めて東京都に伝えるのか。発言した意見について、どのように対応してもらえるのか。区としての憩談会の位置付けをはっきりしてほしい。</p> <p>▶東京都の対応が最大の理由だが、この道路整備については非常に腹立たしく思う。東京都・世田谷区どちらも、問題点を全く整理していない。問題点が明らかになることで反対意見が多数となる可能性もあるが、その場合も、世田谷区は道路整備を前提とする立場を取り続けるのか。</p> <p>▶世田谷区は、自発的な判断は何もせず、東京都に判断を委ねるということか。</p> <p>▷この道路に対しては腹立たしい。道路の問題点について全く洗い出していないのに区は推進していくのか。</p> <p>▷道路整備は、まだ決定していません。</p> <p>▷将来少子化や自動車が減少するときに、こんな先見性のない無能な役人はもっと勉強すべき。</p> <p>-----</p>
-----	---

	<p>▷道路建設は、街を破壊するものです。「道路建設(=街の破壊)」と「街づくり」は矛盾していることをお気づきでないのですか。</p> <p>▷道路建設に伴う問題点を調べた後、問題点がたくさん出てきた場合でも、世田谷区は道路建設を進める態度を変えないつもりですか。</p> <p>▷道路の可否も論議すべきではないですか。</p> <p>▷住民が反対しても区はそれでも都に異を唱えないのか。</p> <p>▷住民側と都側との数次の折衝の経緯と現状について。</p> <p>▷26号線道路建設を前提にした進め方は全く不適切。道路建設の是非の検討から話を始めなければならない。</p> <p>補助26号線の整備主体は東京都であるため、区が道路整備の是非について決めることはできません。住民の皆様からいただいた道路整備に関するご意見やご要望は、反対意見も含めて、事業主体の東京都へお伝えします。また、ご意見やご質問には、東京都と区の役割分担の中で、対応していきます。</p>
<p>交通量</p>	<p>▷補助26号線の予想交通量はどのくらいですか。</p> <p>▷道路整備の結果として交通量がどの程度増えるのか知りたい。</p> <p>▷信号を避けようとする車が狭い道路に入ってくるのでは？数年前も下北沢に向かう車が梅丘通りを通らず死亡事故が起きている。</p> <p>道路構造や交通量に関しては、類似事例の紹介を通して、皆様がイメージしやすいような工夫も必要だと考えています。</p>
<p>横断</p>	<p>▶以前、東京都から、補助26号線に渡しを設置する旨の説明があった。詳細な位置は今後検討するとのことだったが、整備自体は行われると捉えてよいか。どの位置が良いかを検討するにあたっては、ある程度、掘割が深い部分でなければ渡しを設置できないので、どのような掘割が整備されるのか情報が必要である。</p> <p>▷26号線の横断ルートをしっかり作ってほしい。早く開示を。</p> <p>▷横断部分(渡し)は、作られると認識してよいか？どういう形状で掘割が作られるかにもよるので早いうちから検討すべき。</p> <p>▷代沢2丁目から代沢1丁目への行き来がとても不便になるのは耐え難いと感じています。(車も人も往来が激しくなるなら迂回ルートを作っても周辺住民は納得しないと思います)</p> <p>▷道路を挟んで東西の行き来が不便になるのでは？歩道橋ではバリアフリーにならない。</p> <p>▷代沢1丁目の分断を最小限にしたい。横断歩道や弧線橋を出来るだけ多くしてほしい。(児童、生徒、年寄りの往来に)</p> <p>▷かえって不便になるのでは？</p> <p>▷東西の行き来を分断しないでいただきたい。</p>

	<p>場所：淡島通りから北1本目。 現状：中学生の通学路（徒歩）。自転車他が階段のためこの東西ルートでしか出られない。車もすぐに淡島通りに出たい。</p> <p>▷街が分断（道路）されるので対策をどうとるか？ ▷都営アパート前が分断。歩行者（通学路）、自動車が通れなくなる。改善を。</p> <hr/> <p>道路の詳細は、現在、東京都が設計中ですが、通学路の分断への対策など、今後の街づくり懇談会での検討の中で、地域の要望があれば東京都にお伝えしていきます。</p> <p>区としても、補助26号線と交差する道路はたくさんありますので、これとの接続は気になるところです。道路の詳細は、現在、東京都が設計中ですが、なるべく早めに東京都から情報をいただいて模型を作りたいと思っています。</p>
<p>道路構造</p>	<p>▶京王井の頭線の線路の下を通るために、周辺との高低差が発生している区間があるが、これにより地域からアクセスできなくなっている歩道の区間が非常に長い。歩道と車道を同じような形状にする必要がないのであれば、周囲との高低差が発生する歩道の区間を短くした方が良く思う。</p> <p>▷歩道だけでも浅いところに作って側道との行き来をしやすくしてほしい。</p> <p>▷歩道がわざわざ地下に潜らない方がまわりとの行き来もしやすい。</p> <p>▷新しい道路と従来の区道の接続は？北沢1丁目からトンネルをくぐって池ノ上駅に行くのは近道になるはずだが、実際は遠回りを強いられるのでは？</p> <p>▷代沢1丁目（現在も）道路に階段が多い。堀割道路の新設で更に階段が増えるのでは？自転車、車いす等の歩行が困難になる。</p> <p>▷地下に道路をつくれなにか。</p> <p>▷本来であれば歩道や自転車道を地下化するよりも京王線を地下化してもらう方が良いのでは？</p> <hr/> <p>道路の詳細について、今後の街づくり懇談会での検討の中で、地域の要望があれば、東京都にお伝えしていきます。</p>
<p>情報開示</p>	<p>▷「事業のあらまし」の中、立体交差部のイメージ図を見ると、地域の様子が全く変わってしまうようです。道路そのものについても、もっと周知させる必要があるのでは。</p> <p>▷26号線の模型を早めに開示してください。道路構造を理解する必要あり。</p> <hr/> <p>今後、東京都から情報をいただき、模型を製作し、道路構造のイメージ</p>

を分かりやすくお示ししようと考えています。模型は、いずれ街づくり懇談会でお示ししますので、お待ちください。

(4) その他の意見・質問

▶ : 発言 ▷ : 付せん

騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 騒音や振動がとても心配。 ▷ 建設中の入居住民への音の迷惑はどう考える？（今はとても静か） ▷ 公害対策（音、スモッグなど）の計画は？
買収方法・生活再建	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 敷地の一部が計画線の内に入る場合、収用される部分しか買収されないのか。場合によっては全敷地の買収が認められるかどうか確認したい。 ▷ 都営住宅の空き部屋を優先的に斡旋するなどの検討・考慮をしてほしい。
電線類の地中化	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 道路の電柱を地下にする。 ▷ 電柱を埋める。
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 街の安全・安心を第一義的に考えることが重要（防災等） ▷ 長い地下道は治安でも心配。 ▷ 防犯カメラを街の中に設置する。 ▷ 防犯カメラをたくさんつける。
バス	<ul style="list-style-type: none"> ▷ バスを通して。 ▷ バスは通るのか？バス停へのルート、公園へのルート。

2. アンケートの概要

(1) 街づくり懇談会に関する意見

開催方法	<ul style="list-style-type: none">・道路反対の話は、ここではしないことを始めに明言して、決定して時間を節約した方がよい。・区の説明で、だんだん収束していきだろろうと思った。そうすれば建設的な意見が多くなるだろう。・街づくり懇談会が反対意見の議論に終始するのであれば、参加することが有意義だと思えない。・なるべく早く決定する必要がある。・計画があれば早急に。用途地域、地区計画は必要、下馬から東北沢迄、一環とすること。・地権者のみならず、広く意見を求めるべきと思います。・参加者が偏ってしまうのは仕方ないですが、老若男女、様々な方々が住んでいる地域です。もっと広く意見の集約ができるようになったらと考えます。・範囲を広げずに一点ずつ煮つめること。・この場で次回の日程が示されるのかと思ったら、未定のようです。自分の先の予定は結構早く埋まってしまうので、なるべく早目にスケジュールの提示をして下さい。2月も既に予定が入って来ています。よろしくをお願いします。
その他	<ul style="list-style-type: none">・良かった。・多くの意見が出て良かったと思う。・よくまとめて下さって thanks。・非常に良い試みと思います。・区がイニシアティブを取ることは良いと思う。・第1回で道路、街づくり、その他に意見を分けて説明され有益だった。・第1回で懇談会の趣旨は良く解りました。・自分達が住んでいる所の事ですから、いろんな意見全て尊重して話し合っ行ってきたい。・反対意見は出るが、積極的に進めてほしい。・こういう会はありがたいです。本日はありがとうございました。・冒頭の資料確認の場面で、司会者が「資料の不足している方がおりましたら」といった表現をしていましたが、敬語になっていません。「いらっしゃいましたら」ではないでしょうか？・自分は高齢なのであまり未来を考えられないが、娘、孫達に安全に美しく楽しい街を残してやりたいと思う。

(2) 沿道街づくりに関する意見

<p>将来像</p>	<p>豊かな自然を楽しめる街へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅、街路、公園などについて一層の緑化対策促進 ・水流、噴水、井戸などの水資源活用による高環境の創出（蝶やトンボが身边を飛び交う環境回復にも寄与） ・カラスの繁殖抑制による鳥類の生態系改善 <p>災害に強い街へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延焼遮断帯の形成を早期実現 ・ブロックフェンスの高さ制限実施 ・26号線東西横断ルート（避難ルート）の確保 ・無電柱化の早期実施 景観向上にも有効 <p>誰でも生活しやすい街へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小規模のショッピング店舗、レストラン、喫茶店等を設置可能なルール作り ・中高層マンション建設による次世代住民の移住促進（住民若返り策の一環） ・26号線取り付け道路の整備（橋梁道路が多く、人と車の往来に課題多し） <p>子育てしやすい街へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所に保育施設を増強 <ul style="list-style-type: none"> 1～2名程度を預かる小規模の保育機能整備も重要 ・26号線西側に公園新設を要検討 <p>都営アパートの西側から大勢の保育園児が26号線予定地を横切り下代田児童遊園で遊んだあと、同じルートを帰る姿を頻繁に見かけます。（淡島通りの50m北側区道）</p> <p>26号線事業化後はこのルートを使用できなくなるため、対策を考慮すべきです。</p> <p>高齢者が元気に活動できる街へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の設置（26号線近辺に実現できれば健康長寿の一助に（住民全体への波及効果あり）） ・介護施設の更なる整備、拡充 ・高齢者の雇用機会とボランティア活動機会の拡充
<p>用途地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・26号線沿道の住民が建替えしやすい施策として、用途地域等の変更を要請します。 <p>用途地域：一低専 一中高、容積率：150% 200%、建ぺい率：50% 60% 高度地区：第1種高度地区 第2種高度地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の用途地域等の変更を行う場合は、良好な住環境を維持できる範囲内の措置を望みます。

(3) 道路整備に関する意見

<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化でドライバー不足が社会問題となっている昨今、今地域に必要なのは、車を通すための道路ではなく「生活道路」であると考えます。(車のための道路は高速道路(外環等)に任せましょう) ・ 可能であるなら車道部分はトンネル化して、地上の生活道路から切り離してほしいです。そもそも高速道路の計画の無かった時代(昭和21年)の計画が今も生きているのは不思議です。 ・ 本当にこの道路が必要なのか?車中心の社会ではなく、人中心の物の考え方をしていけないといけない。 ・ 反対の人の意見を表に出す機会があまりにも少ないと思います。東京都に話してもよいお返事がきません。
<p>騒音・振動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境がかわってしまうと思います。(振動や騒音が心配)
<p>道路整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 池ノ上駅までの道路整備もあわせてお願いします。とても危険な状態だと思います。 ・ 地域住民の、安心・安全・利便性を十分な考慮が必要!特に、沿道周囲の地形を考えたときに、溝ヶ谷地区(東大の下の低地)に対する防火(延焼阻止)のために消防車が通れる道路は必要。現在は溝ヶ谷地区に消防車が通れる道がないように思います。又、井の頭線沿い(会計検査院宿舎)の道路幅も狭い。(今回拡張されたのですか?)
<p>横断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の道路状況で、大変利便性があるって生活のしやすい環境であると考えています。話にも出ていましたが、地域が道路によって分断されようとしているので、様々な意見を聞いていただき、地元住民が納得できる街作りをしていただきたいと思います。 ・ 道路(26号)が街を分断することを最小にするよう、詳細計画段階でやって下さい。 ・ 淡島通り~井の頭線の区間約500mについては掘割部分が多いため東西の横断ルートの確保は重要な問題です。災害発生時の避難ルートにもなります。本道路の事業主体は東京都ですが、世田谷区としても道路構造プラン進捗状況を注視され将来の安心、安全なまちづくりに繋げて頂きたいと存じます。 ・ 現在の区道で新しい都道を横ぎる部分は残るのでしょうか。先日、三宿二丁目~池尻四丁目の東京都の工事説明会に出ましたが、横断可能な場所が勝手に決められていて、住民が意見を言ってもひっくり返すのは難しい状況でした。車のための道路を作ることが優先されているためと考

	<p>えます。環七、環六は主要道路との交差部が立体交差ですが、26号線は（甲州街道の笹塚を除き）平面交差ばかりで、信号待ちが多く発生する道路になります。であればもう少し歩行者優位の道路であるべきと考えます。</p>
道路構造	<ul style="list-style-type: none"> ・京王と協力をして井の頭線を高架化する方法、地下化する方法も検討すべきではないか。井の頭線を高架化すれば、この道路だけでなく2次元的に街づくりが出来る。 ・側道（線路下を通る歩道）は不要。上に上げる。青山学院グランド下の246の側道は殆ど、通行なし。歩道を上に上げる。
情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量は制せず、模型をこれから作って…。住民の多くがこの道路のイメージがもてていないのではないのでしょうか。「心配」に区分された意見も多くは本音は「反対」の様に思われました。 ・早めに模型が出て来てほしい。 ・街づくり懇談会が開催される機会に、26号線の模型を可及的速やかに開示して下さい。地域住民が街の将来像を考えるに時に、道路構造に関する正しい共通認識を持ったうえで議論を進めることが肝要です。 ・区のHP等で現状の工事の進み具合が見えると良いと思う。 ・意見と回答と見える化。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が広がる分、セットバックの土地は、返却していただけるのでしょうか。

3 . 東京都からの回答

(1) 道路整備について

質問 : 現在も代沢 1 丁目は道路に階段が多い。掘割道路の新設で、更に階段が増えることになるのではないかと。自転車、車いす等の通行が困難になる。

掘割道路となる部分には、沿道からのアクセス道路として副道を設置します。副道により緩やかな勾配で本線に接続できることから、自転車や車いすでの通行は可能と考えております。

質問 :

- ・ 補助 2 6 号線の予想交通量はどのくらいですか。
- ・ 道路整備の結果として交通量がどの程度増えるのか知りたい。

周辺道路の交通量や区部の 2 車線道路の実例を参照すると、10,000 ~ 13,000 [台/日] 程度が走行するものと思われます。

質問 : 建設中の入居住民への音の迷惑はどう考える？ (今はとても静か)

工事の施行中は、低騒音型、低振動型の建設機械や排ガス対策型建設機械を使用する他、建設機械の同時稼働を避ける作業手順・工程とし、騒音、振動の低減を図ります。
本工事の実施に伴い重機が稼働する場合等については、必要に応じて工事箇所境界に仮囲い等を設けるなど、騒音の低減を図ります。

意見 :

- ・ 騒音や振動がとても心配
- ・ 公害対策 (音、スモッグなど) の計画は？
- ・ 環境がかわってしまうと思います。(振動や騒音が心配)

整備にあたっては、「世田谷区環境基本条例」に基づく環境配慮制度に則り、本事業を実施することによる環境影響及びそれに対する配慮方針について検討を行っております。
騒音・振動・大気質については、今回整備する補助 2 6 号線 (代沢) と同規模の都道での測定結果を調査し、いずれも環境基準以下であることを確認しております。

< 表 1 同様の規模の都道における騒音・振動測定結果 >

路線名	観測地点	車線数	道路幅員	騒音レベル (db)		振動レベル (db)	
				昼間	夜間	昼間	夜間
都道赤坂杉並線 (井ノ頭通り)	世田谷区大原 1 - 16	2	2.5 m	昼間	夜間	昼間	夜間
				66	65	45	42
				評価の指標 [騒音] (db)		評価の指標 [振動] (db)	
				昼間	夜間	昼間	夜間
				70	65	60	55

騒音の測定結果は、平成27年度の実績値です。

評価の指標〔騒音〕は「環境基本法」に基づく「騒音に係る環境基準（幹線交通を担う道路に近接する空間に係る環境基準）」です。

評価の指標〔振動〕は「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（東京都）」に基づく日常生活等に適用する規制基準です。

なお、夜間の騒音レベル65dbは、車のアイドリング程度のイメージです。

本路線の車道には低騒音舗装を採用し、道路交通騒音のより一層の低減を図ります。

<表2 幅員の近い都道における大気質測定結果>

局名	車線数	道路幅員	二酸化窒素NO ₂ (ppm)	浮遊粒子状物質SPM (mg/m ³)
明治通り 西巢鴨 測定局	4	21.8m	0.042	0.042
			評価の指標〔NO ₂ 〕 (ppm)	評価の指標〔SPM〕 (mg/m ³)
			0.06	0.10

評価の指標〔NO₂〕は、「環境基本法」に基づく「二酸化窒素に係る環境基準」です。

評価の指標〔SPM〕は、「環境基本法」に基づく「大気汚染に係る環境基準」です。

(2) 補助26号線の東西方向の往来（利便性）について

意見：

- ・街が分断（道路）されるので対策をどうとるか。
- ・東西の行き来を分断しないでいただきたい。（場所は淡島通りから北1本目。現状は中学生の通学路（徒歩）。自転車他が階段のためこの東西ルートでしか出られない。車もすぐに淡島通りに出たい。）
- ・代沢2丁目から代沢1丁目への行き来がとても不便になるのは耐え難いと感じています。（車も人も往来が激しくなるなら迂回ルートを作っても周辺住民は納得しないと思います。）
- ・道路を挟んで東西の行き来が不便になるのでは？歩道橋ではバリアフリーにならない。
- ・26号線の横断ルートをしっかり作ってほしい。早く開示を。
- ・代沢1丁目の分断を最小限にしたい。横断歩道や弧線橋を、出来るだけ多くしてほしい。（児童、生徒、年寄りの往来に）
- ・都営アパート前が分断。歩行者（通学路）自動車が通れなくなる。改善を。など

今後、道路構造の詳細を検討していく中で、横断歩道や信号機の設置など、詳細な検討をしていきたいと考えております。

質問：

- ・以前、東京都から、補助26号線に渡しを設置する旨の説明があった。詳細な位置は、今後検討することだったが、整備自体は行われると捉えてよいか。
- ・横断部分（渡し）は、作られると認識してよいか？

今後、道路構造の詳細を検討していく中で、渡しの設置について、詳細な検討をしていきたいと考えております。

(3) 道路構造について

質問：

- ・地下に道路をつくれないうか。
- ・可能であるなら車道部分はトンネル化して、地上の生活道路から切り離してほしいです。
- ・本来であれば歩道や自転車道を地下化するよりも京王線を地下化してもらう方が良いのでは？

淡島通りから三角橋交差点の間を全て地下化した場合、沿道の方々がこの道路を利用できなくなるため地下化することは考えていません。
現時点では京王井の頭線を地下化する計画はありません。

意見：

- ・歩道だけでも浅いところに作って側道との行き来をしやすくしてほしい。
- ・京王井の頭線の線路の下を通るために、周辺との高低差が発生している区間があるが、これにより地域からアクセスできなくなっている歩道の区間が非常に長い。歩道と車道を同じような形状にする必要がないのであれば、周囲との高低差が発生する歩道の区間を短くした方が良いと思う。
- ・歩道がわざわざ地下に潜らない方がまわりとの行き来もしやすい。

可能な限り歩道が浅い位置で緩勾配となるよう検討していきますが、建築限界2.5mを確保する必要があるため、ある程度深い位置となります。

(4) 道路に関する情報開示について

意見：

「事業のあらまし」の中、立体交差部のイメージ図を見ると、地域の様子が全く変わってしまうようです。道路そのものについても、もっと周知させる必要があるのでは。

東京都へ直接ご意見の申し入れをお願いします。

(5) 電線類の地中化について

意見 :

- ・道路の電柱を地下にする。
- ・電柱を埋める。

震災時の電柱の倒壊を防止し防災性を高めるとともに、安全で快適な歩行空間を確保し、良好な都市景観を創出するために電線類の地中化を行います。

(6) 地下道の治安について

意見 : 長い地下道は治安でも心配。

アンダーパス部には、利用者の安全・安心を考慮し、歩道・車道照明を設置します。

(7) 土地の買収方法、生活再建について

質問 : 敷地の一部が計画線の内に入るに場合、収用される部分しか買収されないのか。場合によっては全敷地の買収が認められるかどうか確認したい。

原則として、道路に必要な部分の用地取得となりますが、個々の状況によって変わってくる場合もありますので、個別に対応させていただきます。

意見 : 都営住宅の空き部屋を優先的に斡旋するなどの検討・考慮をしてほしい。

東京都の補償は、原則、金銭補償となります。都営住宅の斡旋は個々の状況によって変わってきますので、個別に対応させていただきます。

生活再建に関しましては、個別に対応させていただきます。
ご不明な点がございましたら、東京都第二建設事務所用地第一課用地担当
(電話 : 03-3774-8122) までお問い合わせください。

4 . 区からの回答

質問：用途地域の変更は、どのような流れで決まってくるのか？

用途地域の変更は、地区計画の策定が条件となるため、地区のめざすべき将来像の実現に向けて、皆様とともに地区計画と用途地域を検討していきます。
地区計画は区が決定しますが、用途地域は東京都が決定するため、東京都と協議を進めながら手続きを行います。
策定に係る期間は、手続きが順調に進んだ場合でも、原案の作成から概ね1年程度の期間を要します。

質問：地区計画とは何か？

地区計画は、地区のめざすべき将来像を設定し、その実現に向けて都市計画に位置づけて「街づくり」を進めていく手法です。どういう街になってほしいのかという、皆様の想いによって、地区計画の内容を決めていきます。
地区計画には、地区のめざすべき「目標」や「方針」を定め、「建築物等に関する事項」として、建築物の用途や高さ、敷地面積の最低限度など、きめ細かな建物の建て方などについて、地区独自のルールを定めます。
地区計画の策定後は、定められたルールに添った建替え等が行われているか、区によって届出の審査を行います。

意見：立ち退かなければならない家族のために、沿道に高層住宅を建てることを考えてほしい。

今後、地区のめざすべき将来像を考えていく中で、建物の階数や規模も検討していきます。

意見：

- ・防犯カメラをたくさんつける。
- ・防犯カメラを街の中に設置する。

防犯カメラの設置については、補助26号線内外も含めて、設置場所によって設置者が異なります。
東京都にもお伝えしておりますが、現時点では、区と東京都の検討課題として共有いたしました。

意見：

- ・補助26号線ありきではなく、代沢1丁目及び駒場2～3丁目の街づくりがいかにあるべきかを示す。
- ・世田谷の街の外観が損なわれないような街づくりをしてほしい。緑多くゴミゴミしない。
- ・公園や憩談・いこいの場をつくること。代田には下代田児童遊園しかない。
- ・街の安全・安心を第一義的に考えることが重要。(防災等)

沿道地区の街の将来像については、今後、街づくり懇談会において、地域の皆様とともに検討を進め、地区の皆様と共有していきたいと考えています。

意見：

- ・バスを通して。
- ・バスは通るのか。

この規模の道路ができれば、路線バスの新設も想定されますが、バス事業者とともに、今後検討していくこととなります。

意見：

- ・26号線の模型を早めに開示してください。道路構造を理解する必要あり。
- ・早めに模型が出て来てほしい。
- ・街づくり懇談会が開催される機会に、26号線の模型を可及的速やかに開示して下さい。地域住民が街の将来像を考えるに時に、道路構造に関する正しい共通認識を持ったうえで議論を進めることが肝要です。

今後、東京都から情報をいただき、模型を製作し、道路構造のイメージを分かりやすくお示ししようと考えています。模型は、いずれ街づくり懇談会でお示しますので、お待ちください。

補助26号線沿道地区周辺の現況

平成31年2月27日 第2回補助26号線沿道地区街づくり懇談会

